

令和6年度事業報告書

社会福祉法人那須烏山市社会福祉協議会

令和6年度那須烏山市社会福祉協議会事業報告

I 基本方針

本市は急激な人口減少と少子超高齢社会が同時に進み、地域の福祉を取り巻く環境は、複雑多様化と共に幅広い支援が求められてきていることにより、「地域共生社会づくり」が求められている。

「個人が尊厳をもってその人らしい自立した生活が送れるよう支える。」という社会福祉の理念に基づき、各種福祉サービスを効果的かつ効率的に提供できるよう創意工夫に努め、ニーズを起点として地域住民と関係機関が連携した体制づくりや事業展開を図ってきた。

特に、令和6年度からは、那須烏山市として包括的な支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業が実施された。本会としても市と関係機関、そして地域が連携・協働した取り組みとなるよう、一体となって取り組みを推進し、第4期地域福祉活動計画の基本理念である、「だれもがともに支え合う地域共生のまちづくり」の実現を目指してきた。

II 重点目標

- 1 法人組織経営体制の強化推進
- 2 地域福祉活動計画の推進
- 3 地域協働による相談・支援・サービス体制の確立推進
- 4 ボランティアセンターの充実・強化推進
- 5 介護保険事業の推進
- 6 障害児者福祉事業の推進

III 事業内容

1 理事、評議員等組織経営体制の安定強化を推進

【計画】

発展的・持続可能な社会福祉協議会を目指し、社会福祉協議会の執行、議決機関として理事会、評議員会、及び課長会議等を開催し、法人組織、経営体制の改革を進め、組織の安定強化を図る。

【実績】

○第1回理事会

期 日 6月4日 理事 8名 監事1名
場 所 保健福祉センター

○第2回理事会

期 日 12月24日 理事 6名 監事2名
場 所 保健福祉センター

○第3回理事会

期 日 3月 4日 理事 6名 監事2名

場 所 保健福祉センター

○定時評議員会

期 日 6月25日 評議員13名 理事1名 監事1名

場 所 保健福祉センター

○第2回評議員会

期 日 3月21日 評議員13名 理事2名

場 所 保健福祉センター

○課長会議

期 日 4月23日 5月28日 6月25日 7月23日 8月27日 9月24日

10月22日 11月26日 12月24日 1月28日 2月25日 3月25日

2 第4期地域福祉活動計画の推進と進捗管理

【計画】

第4期地域福祉活動計画（令和5年度～令和9年度）に基づく、体制づくり及び事業を推進する。

【実績】

計画推進2年目。各事業計画に沿って事業を推進した。

第1回理事会、定時評議員会において進捗を報告。

3 地域協働による相談・支援・サービス体制の確立推進

個人が尊厳をもってその人らしい自立した生活が送れるよう、支え合いの地域づくりを目指し、地域住民と関係機関が連携して、住民主体の居場所や見守り等の支え合い活動・サービスの充実強化を推進する。また、それらを効果的に進めるための多機関協働ネットワーク体制を構築する。

事業名	事業の概要
<p>コミュニティソーシャルワーク推進体制の構築（重層的支援体制整備事業）</p> <p>【新規】</p>	<p>【計画】</p> <p>人口減少高齢社会が進む中、複合的な課題等が増加していることを受け、地域共生社会の実現に向けて、地域と関係機関が連携した包括的な支援体制を構築するため、市と協働して重層的支援体制整備事業を実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>①包括的な支援体制づくり</p> <p>○市・相談支援機関等で構成する多機関協働推進会議を設置。市と社協の協働事務局体制により運営。</p> <p>事業の進捗確認、複合的な課題（制度の狭間）を把握し、今後必要な支援体制や資源開発等に向けた協議を実施した。年4回開催。</p>

	<p>○制度の狭間となるニーズへ対応と調査 複合的な課題への支援及び相談支援機関への実態把握調査を実施した。19機関25件。境界知能や精神疾患を背景にしたひきこもり等、制度の狭間による課題が把握できた。</p> <p>○協働ネットワーク情報交換会の実施 重層的支援体制整備事業における地域づくり事業実施主体（高齢・障がい・こども・困窮）、社会福祉法人、NPO法人、企業団体等との情報交換の場を設定した。</p> <p>○市庁内及び社協内への周知・協議の実施</p> <p>○関係機関への周知・研修の実施 民生委員児童委員協議会、市自立支援協議会相談支援部会、市包括的継続的ケアマネジメント支援研修。</p> <p>○地域住民への周知・研修の実施 行政区長（自治会長）会議、支え合いネットワーク連絡会、地域住民・関係機関向け研修（社会福祉振興大会記念講話）</p> <p>○チラシ（支援内容及び相談支援機関窓口）の作成及び周知（会議・研修・ホームページ等）</p> <p>②多機関協働による支援の実施</p> <p>○多機関協働事業と生活困窮者支援等のための地域づくり事業の担当者を配置（各1名：兼務）し、制度の狭間等の複合的な課題に対し、多機関協働によるチーム支援を実施した。</p> <p>相談件数 649件/年（新規24件 継続625件） 支援会議6件、重層的支援会議6件、プラン作成5件（新規4件、再1件）、終結8件</p>
<p>住民主体の見守り・支え合い活動や組織づくりの一体的な推進（生活支援体制整備事業）</p>	<p>【計画】 重層的支援体制整備事業の地域づくりに位置づけられた生活支援体制整備事業として、高齢者のみならず、多様な世代・主体との連携協働により、地域での支え合い活動や交流の機会、生活支援活動の創出に向けた働きかけを実施する。</p> <p>【実績】 自治会等と連携し、実態把握や地域に即した活動創出に向け、働きかけを実施した。 自治会27地区、地域組織・見守り隊13ヶ所、当事者団体6団体、居場所活動6ヶ所。（買い物ツアーモデル開発等）</p>

<p>支え合いネットワーク連絡会の設置運営</p>	<p>【計画】 支え合いの地域づくりに向けて地域住民と関係機関等が意見交換・協働につなげていく場として実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>○上半期 「つながり・ささえあい」の地域を考えるミーティング 期 日 8月8日 13:30～15:00 参加者 76名 内 容 「高齢者を支える地域づくりのため、地域に暮らす住民と井戸端会議」 講 師 高根沢町社会福祉協議会生活支援コーディネーター 矢口雅章氏 郡司由美氏 小池千秋氏</p> <p>○下半期 「つながりが地域（まち）を起こす今だから今こそ」～重層的支援体制整備事業を活かして～ 期 日 2月15日 10:50～12:00 参加者 130名 講 師 ローカリズム・ラボ 井岡仁志氏</p>
<p>なすから支え合いサポートバンク事業生活支援サービス「助っ人からす」の推進</p>	<p>【計画】 身近な生活に関する課題を抱える高齢者世帯、障がいのある者がいる世帯等に地域住民と関係機関が連携して課題解決に向けた生活支援を行う。</p> <p>【実績】 希望者数 121名 協力者数 58名</p> <p>○おしゃべり訪問（定期活動） 利用件数 延べ279件</p> <p>○お助け訪問（随時活動） 依頼件数 68件（非対応14件） ※非対応ケースは、外部事業所等を紹介し解決に向けて支援した。</p>
<p>支え合おうネットワーク通信の発行</p>	<p>【計画】 地域の支え合い活動（人や団体）の紹介や時事情報等を掲載した情報紙（A4両面）を作成し、地域の高齢者、関係機関等に配布する。</p> <p>【実績】 毎月発行 延べ30,200部</p>
<p>地域の居場所マップの更新</p>	<p>【計画】 地域内で実施している居場所活動をまとめた居場所マップを随時更新し最新版を発行する。</p> <p>【実績】 3回加除修正して適宜、自治会、市役所窓口、民生委員等関係者へ配布した。</p>

<p>なすから福祉SOSゲームの作成及び貸与</p>	<p>【計画】 地域福祉課題解決に向けて支援者等が住民同士や民間の社会資源について知り、適切な専門機関につなぐイメージを育むためのツールを作成する。</p> <p>【実績】 福祉SOSゲームを作成し、関係機関等の研修会で実施した。</p> <p>7月31日 介護予防サポーター研修会24名 8月22日 鮎みの会31名 1月29日 高齢者見守りネットワーク事業研修会27名</p>				
<p>なすから宅配ガイドブックの利用推進</p>	<p>【計画】 買い物に関する困り事を抱えた高齢者等を支援するため、市内で宅配をしている店舗をまとめたガイドブックの利用を推進する。</p> <p>【実績】 ○増刷1,000部（市役所窓口、商工会に配布） ○9～10月掲載店舗及び地域住民へ利用状況のアンケートを実施。利用状況を踏まえ、市ホームページとリンクしたデータを閲覧できるQRコード付きチラシを作成し関係者へ配布した。</p>				
<p>日常生活自立支援事業（あすてらすなすからすやま）</p>	<p>【計画】 認知症や障がいにより、判断能力が十分でない方が地域で安心して生活ができるように支援を行う。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>契約件数</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>412件</td> </tr> </table>	契約件数	22件	相談件数	412件
契約件数	22件				
相談件数	412件				
<p>法人後見事業</p>	<p>【計画】 法人の立場から、認知症や障がいなどの理由で判断能力が不十分な方に対して、地域で安心して暮らすための支援を行う。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>受任件数</td> <td>12件（後見人）</td> </tr> </table>	受任件数	12件（後見人）		
受任件数	12件（後見人）				
<p>社会福祉金庫の貸付</p>	<p>【計画】 市内在住の低所得者及び生活困窮者に対して、資金の貸付を行い、経済的自立と生活意欲の助長を図る。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>利用件数</td> <td>23件</td> </tr> </table>	利用件数	23件		
利用件数	23件				

生活福祉資金の貸付	<p>【計画】 低所得者、障がいのある者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにする。</p> <p>【実績】 利用件数 15件</p>
生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業	<p>【計画】 生活困窮者である特例貸付借受人に対して、生活状況の把握として家庭訪問を実施し、実情に応じた支援として適切な相談場所の案内（法律相談）や借受人に合わせて同行支援など、きめ細やかなフォローアップ支援（寄り添い型支援＝一緒に考える）を実施する。 （特例貸付は令和4年9/30で終了。利用件数は335件）</p> <p>【実績】 対応件数 324件（アンケート、電話、来所、訪問等）</p>
生活困窮者サポート支援	<p>【計画】 フードバンク提供窓口・貸付利用、生活困窮者支援等のための地域づくり事業との連携し、重層的な支援体制づくりを行う。</p> <p>【実績】 対応件数 54件</p>
善意銀行による給付	<p>【計画】 広く人々から善意の寄付を受け、効果的に社会に還元し社会福祉の増進に寄与する。</p> <p>【実績】 払出件数 2件</p>
市民法律相談の開催	<p>【計画】 弁護士による無料の相談会を実施する。</p> <p>【実績】 申込総件数 34件 相談総件数 32件</p> <p>○市民法律相談 開催日 5月、7月、10月、12月、2月の第3木曜日 13:30～16:00 場 所 保健福祉センター（5月、10月、2月） 烏山公民館（7月、12月）</p>

	<p>○女性のための法律相談 開催日 9月第3木曜日 14:00～16:30 場 所 烏山公民館</p> <p>○相続問題に関する法律相談 開催日 1月第4土曜日 9:30～12:00 場 所 烏山公民館</p>
心配ごと相談所の開設	<p>【計画】 民生委員や行政相談員、人権相談員による生活上の困りごと相談を各地区月1回開催する。</p> <p>【実績】</p> <p>○烏山地区 開催日 毎月第1水曜日 9:00～12:00 場 所 烏山公民館 相談件数 15件</p> <p>○南那須地区 開催日 毎月第3水曜日 9:00～12:00 場 所 保健福祉センター 相談件数 15件</p>
日常生活福祉用具貸出事業	<p>【計画】 障がいのある者や高齢者、ケガなどにより一時的に必要な市民にリフト付き福祉車両・車イス・デイジーCD及び再生機を貸出す。</p> <p>【実績】</p> <p>○リフト付き福祉車両 登録者数 58名 利用件数 延べ150件</p> <p>○車イス 利用件数 延べ 63件</p> <p>○デイジーCD 利用件数 1件</p> <p>○再生機 利用件数 1件</p>
物品寄付及び貸出	<p>【計画】 善意銀行…広く人々から善意の寄付を受け、効果的に社会に還元する。 ボランティア室、生きがい作業室の貸出…ボランティア団体や市民団体の研修や活動等の支援のために貸出しを行う。</p> <p>【実績】</p> <p>○善意銀行寄付 寄付件数 6件</p> <p>○ボランティア室 貸出件数 53回</p> <p>○生きがい作業室 貸出件数 56回</p>

4 ボランティアセンターの充実・強化推進	
より幅広いボランティア活動が推進できるように、ボランティアセンターを充実強化し、住民各層のボランティアの育成と組織化を図る。	
事業名	事業の概要
ボランティアセンター運営委員会の開催	<p>【計画】 ボランティアセンター充実に向けた事業について協議・検討を行う。</p> <p>【実績】</p> <p>○上期会議 期 日 6月24日 参加者 12名 内 容 令和6年度事業計画、意見交換</p> <p>○下期会議 期 日 3月17日 参加者 9名 内 容 事業報告及び事業計画、決算及び予算、意見交換</p>
ボランティア協力校連絡会の開催	<p>【計画】 福祉教育に関わる教職員との連携を図り、福祉教育を推進に向けた意見交換を行う。</p> <p>【実績】 期 日 7月8日 参加者 10名 内 容 協力校助成金や福祉教育に関する意見交換</p>
福祉施設ボランティア担当者連絡会の開催	<p>【計画】 福祉施設ボランティア担当者との連携を図り、ボランティア活動の拡充に向けた意見交換を行う。</p> <p>【実績】 期 日 3月24日 参加者 10名 内 容 施設ボランティア受入れに関する意見交換</p>
ボランティアコーディネート	<p>【計画】 市民のボランティア活動を推進するため登録、調整、助成、活動保険、情報発信団体支援等を行う。</p> <p>【実績】</p> <p>○相 談 66件 ○ボランティアコーディネート 46件 登録者数 568名（団体：38 個人：13名） 保険加入数 2,660名</p>

○その他の業務（事業、会議、研修等への参加）
86回（包括的ケアマネジメント支援研修主催2回、虐待コア会議2回含む）

6 介護保険事業の推進

公共性の高い民間の社会福祉法人という視点から、一般の介護保険サービスの利用が困難な方へのサービスを中心に、介護保険事業を推進する。

事業名	事業の概要
居宅介護支援事業	<p>【計画】 ケアプランの作成。</p> <p>【実績】 ○居宅介護支援 契約数 103名（利用者：延べ 1,254名） ○介護予防支援 契約数 31名（利用者：延べ 354名）</p>
訪問介護事業	<p>【計画】 ホームヘルプサービスの実施。</p> <p>【実績】 ○訪問介護 契約数 44名（利用者：延べ 585名） （活動時間：延べ5,177.5時間） ○第1号訪問 契約数 53名（利用者：延べ 661名） （活動時間：延べ 3,717時間）</p>

7 障害児者福祉事業の推進

心身障がい児者が、一般住民と同じように日常生活が送れるよう障害児者福祉事業を行う。

事業名	事業の概要
障害福祉サービス事業〔就労継続支援事業（B型）〕	<p>【計画】 障害福祉サービス事業〔就労継続支援事業（B型）〕の運営。</p> <p>【実績】 ○すずらん 開設日 月～金曜日 9:00～16:00 契約数 8名（利用者：延べ1,548名） 内 容 アルミ缶潰し、空き瓶選別、袋詰め等、保健福祉センター周辺清掃、くれよん清掃</p>

	<p>○あすなる 開設日 月～金曜日 9:00～16:00 契約数 26名（利用者：延べ4,593名） 内 容 パン製造、リサイクル石鹸、手織り、アルミ缶潰し、箱折り、部品選別等、公園清掃、くれよん清掃</p>
障害児通所支援事業 （児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型事業所）	<p>【計画】 障害児通所支援事業〔児童発達支援・放課後等デイサービス〕の運営。</p> <p>【実績】</p> <p>○くれよんクラブ（児童発達支援） 開設日 月～金曜日 9:00～17:15 契約数 36名（利用者：延べ1,657名）</p> <p>○くれよんクラブ（放課後等デイサービス） 開設日 月～金曜日 9:00～17:15 契約数 44名（利用者：延べ5,218名）</p>
障害児相談支援事業	<p>【計画】 障害児相談支援事業の運営。</p> <p>【実績】 開設日 月～金曜日 8:30～17:15 契約数 100名</p>
障害福祉サービス事業（居宅介護、同行援護）	<p>【計画】 障害福祉サービス事業〔居宅介護、同行援護〕の運営。</p> <p>【実績】</p> <p>○居宅介護 契約数 6名（利用者：延べ 63名） （活動時間：延べ 846.5時間）</p> <p>○同行援護 契約数 1名（利用者：延べ 12名） （活動時間：延べ 28時間）</p>
障がい者余暇活動支援事業	<p>【計画】 障がいの有無を問わず、地域と協働して、お互いの理解を深めながら、余暇を過ごせる機会等を創出する。</p> <p>【実績】</p> <p>○余暇活動 期 日 10月20日 内 容 卓球バレー 参加者 38名（内27名当事者及び保護者）</p> <p>○障がい者スポーツ備品の貸出（ボッチャ、モルック等）</p>

8 福祉意識の向上啓発	
福祉の諸課題の解決のために、必要かつ効果的な市民への啓発活動を行う。	
事業名	事業の概要
社会福祉振興大会	<p>【計画】</p> <p>社会福祉事業に功労のあった個人団体等を顕彰する。</p> <p>【実績】</p> <p>期 日 2月15日 10:00～12:00</p> <p>場 所 南那須公民館</p> <p>参加者 130名</p> <p>内 容 表彰・感謝状贈呈34名・8団体</p> <p>記念行事 講話「つながりが地域(まち)を起こす今だから 今こそ～重層的支援体制整備事業を活かして～」</p> <p>講 師 ローカリズム・ラボ 代表 井岡仁志氏</p>
社協だよりの発行	<p>【計画】</p> <p>地域住民の方に社協事業及び地域福祉活動への理解と参加を促すため、社協だよりを通じて広報活動を行う。</p> <p>【実績】</p> <p>4月、7月、10月、1月 全世帯配布 (No 192～195)</p>
デジタル化を活用した広報周知啓発の推進	<p>【計画】</p> <p>多くの住民に情報を届けられるよう、ホームページやfacebookを活用した広報活動を実践する。</p> <p>【実績】</p> <p>○ホームページのリニューアル</p> <p>○facebookでの情報発信</p>
市民の地域福祉啓発に向けた機会の創出	<p>【計画】</p> <p>地域福祉・健康・介護・医療・防災等の様々な啓発や体験を通じて、住民の意識向上や活動の普及啓発を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>つながるフェスタ</p> <p>期 日 11月10日</p> <p>場 所 保健福祉センター</p> <p>内 容 児童・高齢・障がい・ボランティア・関係団体による分野横断でつながる実行委員会を組織化し、「地域のつながりから始まるBOSAI」をテーマに多世代、多機関の協働による交流の場を実施した。 参加者 約800名</p>

9 福祉関係団体等への支援	
各団体の活動がより活発になり、自主的な運営ができるように支援する。	
事業名	事業の概要
いきいきクラブ連合会	<p>【計画】 高齢者福祉の向上と自主的なクラブ活動の支援及び啓発を図る。</p> <p>【実績】 ○クラブ数 21クラブ（烏山支部10、南那須支部11） 会員数 1,006人（烏山支部467、南那須支部539） ○いきいきクラブ連合会作品展示会 期 日 2月7日～10日 場 所 ベイシア烏山店 内 容 クラブ会員作品展示48作品 来場者 250名</p>
心身障害児者父母の会	<p>【計画】 市内の住民、企業・団体に、福祉わかめの販売を行い、福祉の理解促進及び収益を会の運営費に充てる。</p> <p>【実績】 福祉わかめ販売 販売数 1,020袋</p>
ひとり親家庭福祉会	<p>【計画】 市内の母子家庭・父子家庭の互助活動を支援する。</p> <p>【実績】 ミニ運動会への支援 期 日 9月28日 場 所 那珂川町小川公民館 参加者 39名</p>
一人暮らし高齢者の会「カナリア会」	<p>【計画】 老後の生きがいのために、生活経験を活かしてお互いに助け合い、励まし合い、会員相互の理解と親睦を深める。</p> <p>【実績】 ○交流会 期 日 5月9日 場 所 烏山公民館 参加者 11名 ○反省会 期 日 3月13日 場 所 烏山公民館 参加者 15名</p>

<p>あすなる保護者会 すずらん保護者会</p>	<p>【計画】 あすなる・すずらん保護者会の活動支援。</p> <p>【実績】</p> <p>○あすなる保護者会 5月7日 総会 参加者15名 11月10日 なすからつながるフェスタ参加 ※各種慶弔関係手続き</p> <p>○すずらん保護者会 5月14日 総会 参加者6名 12月24日 保護者会年末食事会 参加者6名</p>
<p>くれよんクラブ父母 の会「コスモス会」</p>	<p>【計画】 休会中。</p> <p>【実績】 休会中のため実績なし。 令和7年度に会の存続可否を検討。</p>
<p>高齢者生きがいつく りグループ</p>	<p>【計画】 高齢者の生きがいつくり等、地域で活動している各サークルや団体に生きがい作業室を貸出す。</p> <p>【実績】 生きがい作業室の利用 絵画(12回)、陶芸(36回)、俳句(12回)、手芸(9回)</p>
<p>福祉団体等貸切バス 利用料補助事業</p>	<p>【計画】 高齢者・障がい者・ボランティア団体等の研修や行事に必要な移動手段を支援する。</p> <p>【実績】 利用回数 7回 317,000円</p>

<p>10 基金の効率的運用</p>																													
<p>【計画】 社会福祉振興基金等の効率的運用を図る。</p> <p>【実績】</p> <table data-bbox="204 1621 1002 1921"> <tr> <td>○社会福祉振興基金</td> <td>寄付件数</td> <td>29件</td> <td>845,060円</td> </tr> <tr> <td>○災害義援金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウクライナ人道危機救援金</td> <td></td> <td></td> <td>162,924円</td> </tr> <tr> <td>台湾東部沖地震救援金</td> <td></td> <td></td> <td>10,140円</td> </tr> <tr> <td>令和6年能登半島地震災害義援金</td> <td></td> <td></td> <td>1,287,208円</td> </tr> <tr> <td>能登半島豪雨義援金</td> <td></td> <td></td> <td>207,853円</td> </tr> <tr> <td>東北地方大雨災害義援金</td> <td></td> <td></td> <td>1,173円</td> </tr> </table>		○社会福祉振興基金	寄付件数	29件	845,060円	○災害義援金				ウクライナ人道危機救援金			162,924円	台湾東部沖地震救援金			10,140円	令和6年能登半島地震災害義援金			1,287,208円	能登半島豪雨義援金			207,853円	東北地方大雨災害義援金			1,173円
○社会福祉振興基金	寄付件数	29件	845,060円																										
○災害義援金																													
ウクライナ人道危機救援金			162,924円																										
台湾東部沖地震救援金			10,140円																										
令和6年能登半島地震災害義援金			1,287,208円																										
能登半島豪雨義援金			207,853円																										
東北地方大雨災害義援金			1,173円																										

11 自主財源の確保			
【計画】			
安定した事業を推進するために、会費等の自主財源の確保に努める。			
【実績】			
普通会員会費	1世帯	800円	3,548,820円
賛助会員会費	1口	2,000円	4,000円
特別会員会費	1口	3,000円	439,000円
団体会員会費	1口	5,000円	35,000円
合 計			4,026,820円

12 共同募金運動への協力	
事業名	事業の概要
募金の趣旨の普及に努めると共に自治会や各種団体等の協力を得て運動を推進する。	【計画】 自治会及び各種団体等に趣旨をホームページ及び広報紙等で周知する。 【実績】 運動期間 10月1日～12月31日 戸別募金 3,827件 3,827,410円 法人募金 99件 360,000円 学校募金 6件 28,981円 職域募金 29件 207,330円 その他 24,259円 合 計 4,447,980円
市内企業・施設から売上の一部を寄付頂く取組み、募金百貨店プロジェクトを推進する。	【計画】 市内企業等に寄付つき商品等を販売してもらい、売上げの一部を共同募金に寄付頂く。 【実績】 実績なし。

13 日本赤十字事業への協力	
事業名	事業の概要
社員加入の推進	【計画】 自治会等にホームページ及び広報紙等で社員加入を推進する。 【実績】 会員増強運動 8月～10月 会 費 500円 会員数 4,443名 合 計 2,221,750円

<p>罹災者への救急物資 配布</p>	<p>【計画】 自然災害、火事等で被害を受けた市民に救援物資を配分 又は弔慰金を支払う。</p> <p>【実績】</p> <table data-bbox="555 412 847 481"> <tr> <td>火災対応</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>弔慰金対応</td> <td>1件</td> </tr> </table>	火災対応	1件	弔慰金対応	1件
火災対応	1件				
弔慰金対応	1件				